

北見日赤通信 “おしえて・アンリーくん” vol.10

こんにちは！！アンリーです。みなさん 心不全手帳をご存知ですか？

今回は、6階西病棟の看護師長で慢性疾患看護専門看護師・心不全療養指導士の資格を持っている、寺山 葉子さんに話を聞いてみたよ。

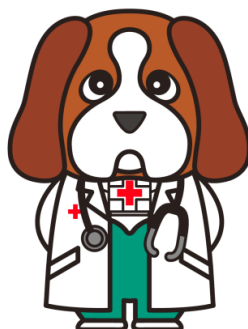
『心不全手帳』クリニック訪問ミニ勉強会をおこないました

日本の慢性心不全患者数は、現在の100万人から2035年までに約132万人となり、心不全パンデミックが起これと予測されています。そのため、心不全の急性期から回復期、慢性期まで地域と基幹病院がシームレスに診療・療養支援することが重要です。

循環器内科では、心不全患者さんに対して、7年前より『心不全手帳』を用いたセルフモニタリング支援を行っています。セルフモニタリングとは、血圧や体重・症状などを自分で測定・記録し、心不全の状態を評価することです。身体の変化を捉え、悪化のきざしに気づき、生活を整えたり、早めに受診して治療を開始することで重症化や入院を回避できます。高齢の心不全患者さんは、自分でセルフモニタリングすることが難しいため、家族やケアマネージャーなどの地域の医療介護職者の協力を得ながら行っています。外来・ICU・救急病棟・6階西病棟・理学療法士が連携して、これまでに約530名の患者さんに心不全手帳をお渡しし、療養指導を行ってきました。

昨年、オホーツク勤医協北見病院、いわもと循環器クリニック、わだ小児科・循環器内科医院、北見循環器クリニック、愛し野内科クリニックを訪問し、心不全手帳を使った当院での療養指導についてご説明する機会をいただき、心不全患者さんの継続支援をお願いしてきました。

医師・看護師・薬剤師などにご参加いただき、ディスカッションを交えた有意義な勉強会となりました。



門前3薬局と『心不全手帳 病薬連携』をはじめました

薬剤部と協力して、病院前にある3つの院外調剤薬局と外来・病棟間での心不全手帳を使った病薬連携を開始しました。

薬局で提示するお薬手帳には、心不全手帳をもっていることを表記するシールを貼用しています。病態の変化があれば病院が心不全手帳に追記して薬剤師が把握することができます。薬剤師が患者さんから得たお薬に関する情報は、外来に連絡いただき情報共有をしています。

院外調剤薬局からは、心不全手帳によって患者さんとのコミュニケーションがとりやすくなり、心不全患者さんの療養について、より関心が高まったとご報告を受けています。

お薬手帳に『シンゾウちゃん』シールをみかけたら、『セルフモニタリングを頑張っている心不全患者さん』とご理解・ご支援ください！

地域の基幹病院として、患者さん、ご家族、地域の医療介護職の方々の声に耳を傾け、地域全体で心不全患者さんを支える体制づくりに取り組んでいきたいと思ひます。



寺山看護師長、ありがとうございました。みなさん**心不全手帳**についてご理解頂けましたでしょうか？

今後もオホーツク管内のみなさんへ北見赤十字病院・道立北見病院の情報をお知らせしますね。



北見赤十字病院

電話番号: (0157) - 24 - 3115

ホームページ: <http://www.kitami.jrc.or.jp>

心不全セルフモニタリング 心不全手帳 地域連携をすすめています

～心不全患者の療養生活をみんなで支えよう～

北見赤十字病院では、心不全患者さんに対し、家族や地域の医療介護職者の協力を得ながら、心不全手帳を用いたセルフモニタリング支援を行っています。

受診時には、病院やクリニックの医師や看護師だけでなく、調剤薬局の薬剤師さんにも手帳を提示し、心不全管理の状態を共有することをおすすめしています。

今後も増加の一途をたどる心不全患者の増悪や再入院を予防していくためには薬剤師のみなさんのお力を借りた服薬アドヒアランスの向上が大変重要です。

短期間での体重増加(1週間に2kg以上)は増悪の徴候として、タイムリーな服薬指導や療養指導の実践にお役立てください。



病院や薬局に
提示しましょう

心不全手帳に左記のシールを貼用しています
セルフモニタリングの目印としてご活用ください

記録ページには診察所見を記載していることも
ありますのでご参考になしてください



シンゾウちゃん

お薬手帳に左記シールを貼用している
患者さんがみえましたら、心不全手帳を
おもちですので、ご提示いただってください

心不全手帳の活用や入手方法については心不全学会 HP もご参考になしてください

不明な点や共有したい情報があればご連絡ください

北見赤十字病院 循環器内科外来

お問い合わせ

0157-24-3115

(平日 9:00～17:00)